

『推しの公園を育てる！
公園ボランティアで
楽しむ地域の庭づくり』

一般社団法人みんなの公園愛護会、
梶田 里佳、跡部 徹 著

[学芸出版社、2024年5月、2,530円]



人それぞれ、子どもにとっても大人にとっても公園のイメージや思い出があるものだ。著者は、自分の居住する「地域の庭」として、主体的に公園を活用する方法について、いろいろなボランティア活動という形で紹介し、公園ボランティアを「新たな公園遊びの開拓と探求の活動である」と定義している。

公園ボランティアの醍醐味として著者は、「近所の人と楽しめる」「簡単で取り組み易い」「多世代が生涯楽しめる」などをあげており、そのためには当たり前のことだが、行政との連携、相互サポートが不可欠だとしている。

具体的事例として、全国各地の活動内容、町の庭としての公園での活動の仕方、面白く活動するコツ、無理せず継続する有効なアイデアなどを紹介している。楽しみ方は、お掃除からお祭り、手作りフェスまで無限大だ。

著者には、以前このALPSで、公園ボランティアに関する記事を執筆していただいた。これがきっかけで私自身も昼休みに公園を散歩するようになった。今回はその活動を総合的にまとめて、さらに同様な全国の活動を調査し、再編集して紹介するものだ。人が遊ぶことをベースにして主体的に関わることで、「推しの公園を共に育てていく」楽しみを知ると、世界は一気に広がり、推しの公園のベンチや芝生は、皆さんの人生を豊かに味わい深いものにしてくれるだろう。
(執筆：協会職員 丸 弘之)

今回のALPSのテーマはおひとりさま。いよいよ秋本番、行楽の秋でもあり、連想できるのは一人旅。初めて一人旅をしたのは、学生時代の夏休み。青函連絡船に乗り、周遊券で北海道へ。現在は、仕事から年に数回、全国各地へ一人旅をしている。

家族や仲間達との旅に比べ、一人旅は自由気ままに、行く先々で急な変更もあり、これが結構後々思い出となる場合がある。ふと気づくと実際の旅をしながら自分自身の記憶の旅をしていることもある。とりあえず行きたいところを決めておき、朝、天気が良かったら決行。お勧めは、観光地というよりは何か気になるところへの日帰りのプチ一人旅。都心の街歩きもこの一つ。神社仏閣、B級グルメ、夕焼空観察など何でも良い。そこで何かを見たり体験したりすることより、そこまでの道中で何を思うか。自分自身を見つめ直すこともできる。

慌ただしく過ごしていると出会えないことがふとした非日常で感じられると、何か得した気分。皆さんも是非この秋、チャレンジしてみたらいかが？

(M)

日本では、2033年に1世帯当たりの人数が1・99人、2050年には独り暮らし世帯が44%になると推計されています。独り暮らしがスタンダードになりつつある今、社会の仕組みも見直す時期に来ているようです。独り暮らし世帯にはどんな情報が必要なのか、本誌でも考えていきたいと思います。(R)

ご意見をお待ちしております。

ご意見、ご質問、ご感想などをお寄せください。皆様の声を、積極的に活かしていきたいと考えております。

E-mail : alps2@lifeplan.or.jp

協会への交通案内

- 東京メトロ千代田線・日比谷線／霞ヶ関駅 C4 番出口より直結
- 東京メトロ丸の内線／霞ヶ関駅 B2 番出口より徒歩 3 分
- 東京メトロ銀座線／虎ノ門駅 9 番出口より徒歩 3 分
- 都営地下鉄三田線／内幸町駅 A7 番出口より徒歩 3 分

ALPS Vol.159 2024 年 10 月発行
発行 ●一般財団法人地域社会ライフプラン協会
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2 丁目 1 番 1 号
飯野ビルディング 11 階
TEL : 03-6550-8441 FAX : 03-6206-6401
ホームページ <https://www.lifeplan.or.jp>
E-mail alps2@lifeplan.or.jp
編集協力・印刷 ●株式会社丸井工文社

本書からの無断複写・転載を禁じます。
本誌は再生紙を使用しています。

